

みつゐ病院便り 第26号

玉野三井病院

平成20年11月

706-0012 岡山県玉野市玉3-2-1 TEL:0863-31-4187 FAX:0863-23-2084
URL:<http://www.harenet.ne.jp/tamano-mitsui-hp/> E-mail:mitsuihp@mes.co.jp

画像管理伝送システム（PACS）を導入しました

放射線科 武田 典之

平成20年9月より、画像管理伝送システム（PACS）の運用を開始しましたので、このシステムについて紹介させていただきます。

PACS（Picture Archiving and Communication System）とは、一般撮影・CT・MRIなどの医療用画像データを「院内画像サーバー」で電子的に管理し、ネットワーク上でやりとりするシステムの事です。通常、放射線画像はフィルムで出力され、使用がすんだら倉庫などへ保管されますが、近年、医療機器の発展に伴い、画像データ量は飛躍的に増大しており、これらのデータ全てをフィルムに印刷し保存することが不可能になりつつあります。このような大量の画像データを一元的に管理・保管し、配信する場所が「院内画像サーバー」で、ちょうど病院のフィルム倉庫にあたります。

撮影された画像は、「院内画像サーバー」に転送され、画像はすぐに利用が可能となります。また、放射線科医師による、CT、MRIなどの画像診断レポートも画像読影レポート入力システムのサーバーとして管理・保存されていますので、主治医が必要な時にいつでも閲覧できます。

このシステムでは、一部の検査を除き、フィルムを使用しません。画像サーバーとオンラインで繋がった、外来診察室・病棟・手術室などに設置された画像診断用モニタに画像を表示します。

そのため、診察時、手元にないフィルムを取りに行く手間や、整理・保管業務の必要もなくなってくるので、患者様の待ち時間の軽減につながります。



画像診断用モニタ

眼科に角膜内皮細胞検査装置が入りました

眼科医長 筒井 康子

角膜というのは黒目の表面にある厚さ約 0.5mm の透明な膜状組織ですが、この内側を覆っている内皮細胞は、角膜の透明性を保つ上で重要な機能を果たしています。角膜内皮細胞は、細胞分裂能がきわめて低いため、いろいろな原因で脱落した細胞のあった場所は、周りの細胞が伸展拡大して埋めているのですが、脱落した量が多すぎると限界を超えると、残った細胞だけでは角膜の内側をきちんとおおってやることができず、水疱性角膜症を生じて難治性の視力低下や眼痛・流涙など厄介な症状の原因になります。

日常生活において角膜内皮細胞の脱落は、加齢現象のみならず、外傷や強い炎症、角膜移植手術・白内障手術やコンタクトレンズによる慢性的な酸素欠乏によっても起こってきます。

角膜内皮細胞検査装置は、角膜内皮を写真に撮って細胞密度を計算することにより、角膜内皮に対する障害の程度を把握するものですが、平成20年4月から玉野三井病院眼科に導入された装置は、非接触式でオートアライメント機能がついているため、従来のものよりすばやく簡単に検査できるというものです。

きっと患者の皆さんの治療のお役に立てることでしょう。



敬老会

南病棟では、今年も皆様の長寿をお祝いして敬老会を開催いたしました。

約 40 名の入院患者様の平均年齢は 85.9 歳になります。大正生まれの方が半数以上を占めておられますが、最高齢者の方は 10 月に 100 歳を迎えられました。

荘内地区の「すみれ会」という大正琴（琴伝流）のグループの方がボランティアで演奏会を開いて下さいました。8 人の女性の方が鮮やかなおそろいの衣装を身につけられ、「りんごの歌」や「瀬戸の花嫁」など懐かしい曲を 10 数曲披露されました。患者様も歌詞カードを見ながら、また身体でリズムを取りながら一生懸命歌っておられました。ご家族の方や他の病棟の患者様も来られて一緒に口ずさみながら楽しいひと時を過ごしました。院長より細やかですがお祝いの記念品をお渡しして、皆様の更なるご長寿と健康をお祈り致しました。



ナースキャップを廃止しました

総師長 細川 麻美子

近年、感染予防の観点から、ナースキャップを廃止する病院が増えてきております。当院においても、職員から廃止の声が上がり、賛否両論色々と検討してきましたが、9月より廃止いたしました。

地域の皆様には、少し違和感を感じる方がおられるかもしれませんが、(実際に私自身寂しく感じておりますが…) ご理解頂きますように、よろしくお願い申し上げます。



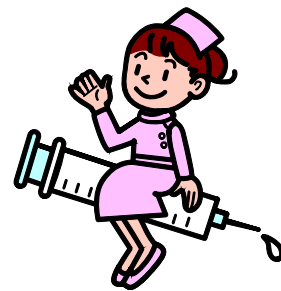
インフルエンザ予防接種

インフルエンザは風邪と異なり高熱・倦怠感・筋肉痛など全身症状が5日間ほど続き、気管支炎、肺炎などを併発しやすい危険な感染症で時には死に至ることもあります。ワクチン接種を受けてからインフルエンザに対する



抵抗力が付くまでには、一般的に2週間程度かかると言われています。

その為ワクチンの接種は流行が始まる前の10月下旬から12月中旬頃に行うのが望ましいとされています。当院では予約制となっておりますので、ご希望の方は総合受付①へ御申し出下さい。



-お知らせ-

薬についてのお問い合わせは、当院薬剤科(薬局)までお願いします。

病 院 理 念

地域に根ざし、誠意と確かな医療で、患者様に信頼され安心していただける病院。

基 本 方 針

1. 患者様のかかりつけとしてのお付き合いを念頭に責任を持って対応します。
・健診とそれに基づく健康相談・救急を含めた急性期医療・療養を含めた慢性期医療・訪問診療を含めた在宅医療
2. 患者様の尊厳と権利を尊重し、患者様中心の医療を実践します。
3. 個人情報の保護と守秘義務の徹底を心がけます。
4. 全職員が研さんを積み、医療の質と安全について常に向上を目指します。

患 者 様 の 権 利 に つ い て

私たちは患者様の権利を尊重し、信頼関係を築き患者様中心のあたたかい医療の実践に努めます。

1. 患者様の意思を尊重し満足される医療を提供いたします。
2. 治療の説明を受け、選択や拒否ができるようにいたします。
3. プライバシーを尊重いたします。